

# 古民家等の活用による集落再生プロジェクト～ 宿がつなぎ、嶋をつなぐ ～

人口減少、少子高齢化が最大の課題となっている小豆島。将来的に限界集落となる地区も少なくありません。そのうち、堀越地区も同様に高齢化率が57.7%とその傾向が顕著です。一方で、ここ数年若い世代の移住者が定住し、夜祭りの復活や早稲田大学との域学連携事業の展開等、地域が元気になる兆しが出始めています。地域コミュニティの再生に向け、古民家等の活用による地域内外の交流や新産業の創出等による集落再生事業を展開します。

【堀越の人口等】H28.12.1  
 ❖ 97人(町15,275人)  
 ❖ 46世帯(町7,086世帯)  
 ❖ 移住者17人(H23以降で住民票のある方)  
 ❖ 高齢化率57.7%(町40.3%)

## 空き家再生等推進事業(国庫補助)を活用した集落再生プロジェクト

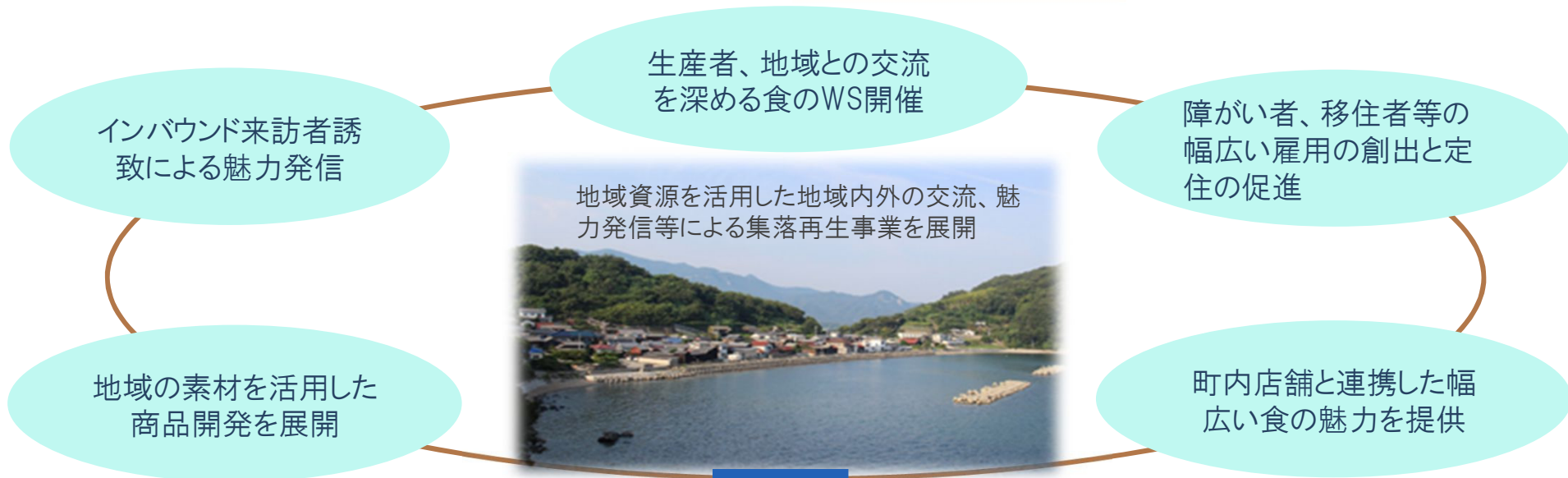
### 【事業概要】

- ❖ 堀越地区の海岸沿いに7室の「海に特化した新たな滞在型宿泊施設」を整備(民間事業者単独整備)
- ❖ 農産物、海産物の加工、商品開発等の拠点「FACTORY」を整備  
 ※社会資本整備総合交付金の空き家活用型を活用



### 【概算事業費】

H29年度予算額 26,000千円  
 ※うち、国費 13,000千円  
 ❖ 社会資本整備総合交付金を活用  
 ❖ 民間事業活用は国、町、民間3分の1ずつ負担(国費は町補助の2分の1)



民間事業者と地域との協働による限界集落の活性化をめざして